

第5次総合振興計画事務事業評価シート(様式1)

提出日	R5.6.20
担当	課名 子育て支援課 グループ名 子育て支援グループ 記入者名

1 事業概要

(1)事業名	町立保育園等管理運営費	(2)事業種別 (新規・継続)	継続	(3)事業性格 (政策・一般)	一般事業							
(4)第5次総振での位置づけ	(5)予算・財源等の別											
①基本目標	健康で安心して住めるまち(保健・医療・福祉の充実)	①会計区分	一般会計									
②大項目	子ども・子育て支援	②財源区分	町単独									
③中項目	保育の充実	③予算科目	款	3	項	2	目	3				
④施策	施設及び運営体制の整備	④予算事業名	町立保育園等管理運営費									
⑤施策コード	5.3.1.2	掲載ページ	85	ページ								
(6)実施根拠	(7)総合戦略											
①事務分類(自治・受託)	自治事務	①総合戦略 (該当事業名)	無									
②根拠法令	児童福祉法	③事業期間	開始	昭和40	年	4	月から	終了	未定	年	月	まで

2 事業の目的・対象及び内容

(1)目的(何のために行うか)	(3)手段(内容・どのような取り組みか)		
日々の保護者の委託を受けて、保育を必要とする乳児または幼児を保育すること。	大河・八和田保育園において、年齢に応じた保育方針により保育を実施する。		
(2)対象(誰に対して、何に対して行うか)	(4)成果イメージ(どのような状態になることを目指すか)		
保育を必要とする、0歳から5歳の児童。	豊かな自然の中で、のびのびと集団生活を楽しみながら、様々な体験を通して心身ともにたくましく生きる力、豊かな情緒、友達を大切に作る気持ちを育む。また低年齢児保育・延長保育・障害児保育・一時保育等を実施し多様な保育ニーズに対応。		
対象数	132	単位	人

(5)事業を取り巻く環境(社会環境、町民ニーズ等)、団体、議会等からの要望など

保育園での保育ニーズは低年齢児化しており、0歳児から保育園を利用したいという世帯も多い。また、虐待やDVのおそれがある世帯からの入園希望もあり、保護者支援を必要とする場合が増加しているため、保健師との関わりも多くなっている状況がある。乳幼児期にふさわしい生活の場を豊かに作り上げるとともに、子どもと保護者のかかわりを見守り、適宜必要な援助を行っていく。

(6)SDGsへの貢献



3 事業のコスト(実績・予算・決算) (単位:千円)

項目	(1)事業(内容) 町立保育園等管理運営費					
	決算・予算年度	R元年度決算	R2年度決算	R3年度決算	R4年度決算	R5年度予算
(2)事業費内訳						
報酬	46	41,329	32,486	34,083	37,937	
報償費	735	480	490	490	490	
需用費	24,075	21,747	18,682	18,223	19,638	
役務費	1,598	1,681	1,747	989	1,024	
委託料	1,156	1,282	2,343	945	944	
その他	44,702	3,554	9,621	3,976	4,228	
直接事業費合計	72,312	70,073	65,369	58,706	64,261	
(3)財源内訳						
国庫支出金	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	
地方債	0	1,500	0	0	0	
その他特定財源	57,339	25,928	20,306	23,202	20,837	
一般財源	14,973	42,645	45,063	35,504	43,424	
合計	72,312	70,073	65,369	58,706	64,261	
(4)補助金名						
(5)人件費						
投入職員数	27	26	23.8	22.1	22.1	
年間人件費	208,332	198,614	181,546	166,678	170,104	
(6)総事業費	280,644	268,687	246,915	225,384	234,365	
サービス量(延べ人数)	2,268	2,070	1,733	1,573	1,992	
サービス単価	123.7	129.8	142.5	143.3	117.7	
(単位)	千円/園児1人・1日当たり					

4 指標の検証(活動指標・成果指標)		町立保育園等管理運営費				
指標名		単位	R3年度決算	R4年度決算	R5年度予算積算	
(1)活動指標(実施した事業の量:回数、延長、面積等)						
指標名	障害のある児童の保育	目標値	人	9	9	9
		実績値	人	7	6	
		達成率	%	77.8	66.7	
	目標値					
	実績値					
	達成率					
(2)成果指標(実施した結果として得られた成果の量と達成度:人数、世帯数、件数、団体数、コスト指標等)						
指標名	障害のある児童の保育	目標値	人	9	9	9
		実績値	人	7	6	
		達成率	%	77.8	66.7	
	保育所待機児童数 (総振目標指標p117) R7年度目標値 0人	目標値	人	0	0	0
		実績値	人	0	0	
		達成率	%	100	100.0	
(3)その他指標に現れない成果						
いずれの保育園も自然に恵まれた環境にあり、日常保育での散歩等を通じて園児は周囲の自然に親しんでいる。花苗・野菜の栽培を通年で保育内容に取り入れ、外遊びも多く取り入れている。また、障害のある児童のほか、医療的ケアの必要な児童も1名受け入れている。						
5 事業評価						
(1)項目別評価						
評価項目		評価		評価理由	評価した理由を選択してください。	
必要性	事業の必要性	1	1 必要性は高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	1	1 事業の実施が関係法令等で定められている	
					2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である	
3 その他( )						
妥当性	実施主体の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	1 事業の主体が関係法令等で定められている	
	2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である					
3 その他( )						
妥当性	手段の妥当性	2	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	3	1 事業を行うのに民間活力(企業、NPO、ボランティアなど)を活用している	
	2 他に有効な代替手段が見当たらない					
3 その他(保育園の民間移行を進める。)						
効率性	コスト効率性 人員の効率性	3	1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	3	1 サービス単価は減少している	
					2 サービス単価を維持している	
3 その他(民間保育所と比較してコスト効率性が低い。)						
公平性	受益者の偏り	1	1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	1	1 公平に分配されている	
					2 おおむね公平に分配されている	
3 その他( )						
有効性	成果の向上	2	1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	3	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている	
					2 成果指標は、前年度より向上している	
3 その他(達成率は下回っているが、必要な児童の受け入れは行った。)						
進捗度	事業の進捗	2	1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	1	1 年度内に予定した事業は完了した	
					2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した	
3 その他( )						
(2)総合評価(上記結果を踏まえて、問題点や課題を記載してください。)						
近年、保護者支援の必要性が大きくなってきている。保護者支援をはじめ、障害児支援、DV等の対応には専門的な知識が必要とされる。町立保育園では障害児を受け入れ、保育を実施している。障害児受け入れに際しては、医師の診断書をもって申出を基本としているが、近年保護者の理解が得られないケース、医療機関が混雑し受診までに時間を要するケースが生じており受け入れの課題となっている。また、保育園舎の老朽化に伴う維持管理が必要である。						
6 事業の方向性の判断		1 拡充 2 現状維持 3 縮小・統廃合				
評価主体	(1)一次評価 (担当課長)	(2)二次評価 (政策推進課長)	(3)最終評価 (町長)			
評価	3	3	3			
説明	公立保育園2園について、課題を整理しながら、民間移行を進める。	保育園舎の老朽化や保育環境の変化に対応するため、適切な手順を踏み、民間移行を行っていく。	保育サービスの向上と持続的な運営確保のため、適切に移行を進める。			